※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」　（東京書籍）						
副教材等	自主作成プリント　等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、芸術科書道Ⅱでは古典の特徴と用筆・運筆との関わり等を学びましょう。
・漢字の書、仮名の書を学習し、漢字仮名交じりの書で感興や意図に応じた個性的な表現ができることをめざします。
・芸術としての書を、自分の創造的な表現として制作し、自分の気持ちや、他の人の気持ちを話し合い、表現することの意味を考えます。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、作品を鑑賞することで書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に対する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に深く取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	仮名の書	・古筆の鑑賞・臨書を通じて、仮名の書を構成する様々な要素を学ぶ。 ・古筆（平仮名・片仮名・変体仮名）の特徴と用筆・運筆・線質・字形との関わりを理解する。 ・表現形式に応じた全体の構成を構想し、感興や意図に応じた工夫をしながら個性的な表現をする。（創作作品）	a：仮名の書を構成する様々な要素を理解している。 a:古筆の特徴と用筆・運筆との関わりを理解している。 a:古筆に基づく効果的な表現や墨継ぎや散らし書き等による全体の表現に必要な技術を身に付けている。 b：表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現など、書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し個性豊かに表現を工夫している。 b：作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義を考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。 C:仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 C:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広く深い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
2学期	漢字の書	・古典（楷書、行書、隷書、篆書）の鑑賞・臨書を通じて、漢字の書を構成する様々な要素を学ぶ。 ・古典の特徴と用筆・運筆・線質・字形との関わりを理解する。 ・表現形式に応じた全体の構成を構想し、感興や意図に応じた工夫をしながら個性的な表現をする。(コンクール作品・	a：漢字の書を構成する様々な要素を理解している。 a:古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解している。 a:古典に基づく効果的な表現や全体構成に変化や調和等をいかした表現ができる技術を身に付けている。 b：表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現など、書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し個性豊かに表現を工夫している。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

		刻字作品の制作）	b：作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義を考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。 C：漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に深く取り組もうとしている。 C：書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広く深い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。			
３学期	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・感興や意図に応じた漢字（楷書、行書、草書、隷書）と仮名（平仮名・片仮名）を調和させ、目的や用途に応じて効果的に表現する。（創作作品）	a：漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解している。 a：名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりを理解している。 a：名筆や現代の様々な書に基づく効果的な表現や全体構成に変化や調和等をいかした表現ができる技術を身に付けている。 b：表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現など、書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し個性豊かに表現を工夫している。 b：作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義を考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。 C：漢字仮名交じりの書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に深く取り組もうとしている。 C：書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広く深い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度